地理×世界史カードゲーム

国旗ミュージアム

人数：2〜6人
時間：10〜20分
年齢：10歳以上

（予定：ルール説明動画のQRコード）

概要

国旗と輸出入品を手がかりに、その国の人口や続いた年数などを予想し、小さい順に並べる対戦ゲームです。
めくるたびに「えっ、そんなに？！」が待っています。

内容物

- 国旗カード：155枚



国旗の面　数字の面

- お題カード：10枚
（ふつう4枚、むずかしい6枚）



表　裏

- 説明書（この紙）1枚
- 国旗一覧シート 1枚

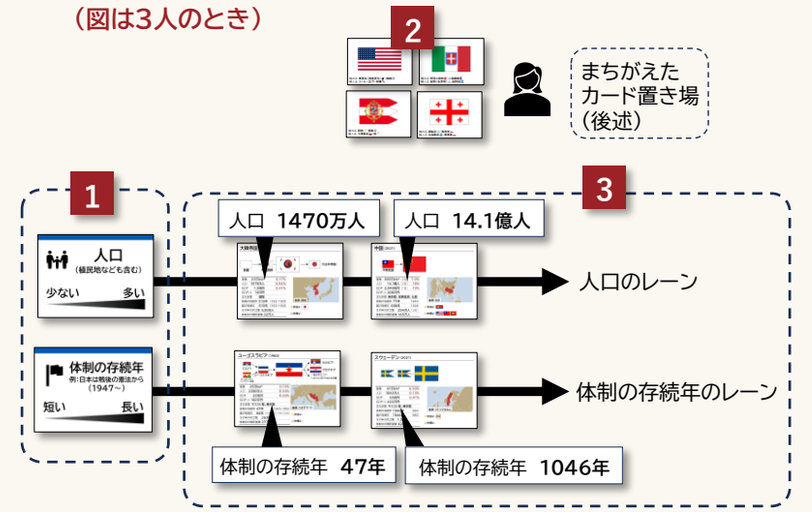
制作：ミケロンゲームズ
X：mikeron_games
mail：keima9955@gmail.com

Special Thanks：K. Tsunekawa

旗画像：Wikimedia Commons 投稿者の作品
（CC BY-SA。2 ページ目参照）

① ゲームの準備

（図は3人のとき）



遊ぶ人数	2人	3人	4人	5人	6人
お題カード	2枚	2枚	2枚	3枚	3枚
1人に配る国旗カード	6枚	4枚	4枚	4枚	4枚
レーンに置く国旗カードの上限（★上級ルールのみ）	8枚	8枚	10枚	9枚	10枚

1 お題カードを話し合って選ぼう

- 上の表を見て、遊ぶ人数に合った枚数を選ぶ
- お題カードを上下に並べて左側に置く

🔰 最初は「ふつう」のお題で遊ぼう。

2 国旗カードを国旗の面を上にしてよく混ぜて配ろう

- 上の表を見て、遊ぶ人数に合った枚数ずつ配る
- 国旗の面を上にしたまま、自分の手元に置く

⚠️ 数字の面を見てはいけないよ。

3 みんなで使う「レーン」を作ろう

レーンはお題カード1枚ごとに国旗カードを横1列に並べる、共通の場所だよ。

- 1枚目のお題カードの右に、あまった国旗カードから**2枚**引いて、数字の面を上にして、そのお題の数字が小さい順に左から並べる
- 2枚目以降のお題カードについても同じように2枚並べる

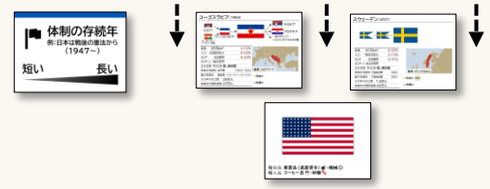
あまった国旗カードは使わないので、わきによけておこう（★上級ルールで使用）。

② ゲームの進め方

最初の人をじゃんけんか話し合いで決めて、時計回りに進めよう。
手番でやることは、手元の国旗カードから1枚をレーンに置くだけ！
その1枚について、下の順番で進める。

■ 手元のカードから1枚選んで、レーンの入れたい場所の近くに置こう

- どのレーンでもOK
- 選んだレーンの好きな場所に入れられる（両端もOK）



■ 国の名前と、そこに置いた理由を言おう！

💬『これはアメリカだと思う。200年ぐらい続いてそうだからこの位置かな？』
🔰 まちがえても大丈夫！言ってみることが大切。
まわりの人は口をはさんでもOK。最後に決めるのは置く人。

■ 置いたカードをめくって答え合わせ！

めくったカードのお題の数字を見よう。そのカードを入れても、レーンが左から小さい順のままなら正解。**同じ数字なら左右どちらでも正解。**
⭕ 正解：レーンのカードをずらして、その場所に入れる。
❌ まちがい：数字の面が上のまま、自分の横の「まちがえたカード置き場」に置く。

💡 数字が「○○以上」と書いてある場合は、○○を数字と見なしてね。

■ 時計回りで次の人の手番へ

③ ゲーム終了

- 全員の手元のカードがなくなったら、ゲーム終了！
- **まちがえたカード置き場にあるカードを数えて、1番少ない人の勝ち！**
- 同じ枚数で並んだら、その人たちは引き分け

★ 上級ルール

ここまでのルールに、次の変更を加えてね。

① ゲームの準備

レーンを作ったあと、あまった国旗カードを国旗の面を上にして重ねて山札にし、そのとなりに「カード捨て場」を作る。
⚠️ 「まちがえたカード置き場」は使わない。



② ゲームの進め方

レーンごとに、表の「レーンに置く国旗カードの上限」までしか置けない。
答え合わせでまちがえたとき：数字の面を上にしてカード捨て場に置き、山札の1番上のカードを引いて手元に置く。

③ ゲーム終了

先に手元のカードがなくなった人の勝ち！

データの由来

輸出入品の一部は TOFLIT18（ODbL）のデータを含みます。カードの旗の画像の一部は Wikimedia Commons の投稿者の作品で、CC BY-SA 2.5／3.0／4.0（https://creativecommons.org/licenses/by-sa/3.0/ ほか各版）のもとで無改変で使用しています。作者名・ファイルごとのライセンス・出典の完全版は https://mikeron-games.com/en/games/flag_museum/credits/ に記載します。

このゲームのカードは、国旗だけでなく「その国がどれくらい大きかったか」を数字と地図で見せます。ここでは、カードの数字がどう作られているかの約束ごとを説明します。遊ぶだけなら読まなくてかまいません。「この情報はどうやって入手したんだろう」と思ったときに読んでください。なるべく情報を正確に保つよう努めていますが、正確性・信頼性については保証できませんのでご了承ください。

■ カードの中身

- カードは155枚（今の国104枚・昔の国51枚）。
- 国の名前は、地理や世界史の教科書でよく使われる呼び方を採用しています。
- 国名のとなりの年を、この説明書では「その年」と呼びます。カードの数字と地図は、基本的にその年のものです。
- 今の国は2021年（World Bank の統計）。面積・人口・GDPは2021年、兵士数は2020年の値。順位も同じ年の統計で付けています。
- 昔の国は、一番大きかった年か、まとまった統計のある年です。同じ国の昔の姿を別のカードにしていることもあります（イギリスは1750年・1920年・2021年の3枚）。
- 国名の右の「*」は、独立国ではない国・地域です（香港・プエルトリコ・グリーンランド・カタルーニャ・EU）。
- 国旗の系譜で「*」がついている旗（アイルランド*、オランダ領ケープ*）は、国旗の図柄の由来として描いたもので、国旗とは異なります。
- 大日本帝国（1942）と満州国（1942）のように、領域が重なるカードがあります。

■ 旗について

国旗は苅安望『世界の国旗・国章歴史大図鑑』『旗章の世界史 大図鑑』を参考に定めています。明（1600）など、国旗の考え方が無かった時代のカードには、国旗の枠線を点線にして皇帝の旗や軍旗を載せている場合もあります。旗の大きさは、縦横比を公式のまま保ち、長方形の部分の面積がどのカードも等しくなるように調整しています（裏面の旗も同じ）。

出典：Wikimedia Commons（ファイルごとの作者とライセンスは公式ホームページに）。一部の旗は、書籍の図版に合わせて色や形を直しています。

■ 輸出品・輸入品

その年の前後の貿易統計で、金額の上位2品目です（今の国は2019～2021年の平均、昔の国はその年に近い年の統計）。資料に無いものは「出典に情報なし」です。

出典：The Atlas of Economic Complexity（1962年～）、The Statesman's Year-Book（1864～1961年）、TOFLIT18（18世紀のフランス）、Findlay & O'Rourke『Power and Plenty』・各国の統計年鑑・研究書（それ以前と年鑑の無い年）。品目の絵はTwemoji（CC BY 4.0）。

■ 国旗の系譜

- 左が前身、真ん中がその年の旗、右が後継です。
- 実線は同じ体制のまま、矢印は体制が変わったことを表します。
- 前身・後継が複数あるときは、本国にあたる国を先頭に、あとは人口の多い順です。今もある国には後継を描いていません。
- 分かりやすさのため、間に短命な国をはさんでいても、両方がカードになっている国同士を直接つなぐことがあります。

出典：苅安望の著書、Cliopatria（領域の重なり）、Wikidata（前身・後継の記録）。

■ 面積・人口・GDP・GDP/人

- その年の値です。（〇位）は世界での順位、%は世界全体に対する割合。GDP/人は、GDPを人口で割った値です。
- 帝国は植民地をふくみます。イギリス（1920）・大日本帝国などは、植民地・保護領・併合した土地を入れています。戦争中に一時的に占領していた土地は入れていません。
- GDP（国内総生産）とは、その国が1年間に生み出したモノやサービスの合計金額のことです。国の経済の大きさを表します。
- GDPは、為替レートではなく購買力平価（物価の違いをならした換算）で比べ、1国際ドル＝100円で円にしています。昔の国のGDPは、まず世界全体に対する割合を求め、同じ物差し（2011年ごろの物価の国際ドル）の世界GDPを掛けた額です。研究者の推計なので幅があります。

昔の国の人口とGDPは、Maddison Project Database が今の国ごとに持つ値をもとに、その国が治めていた範囲（地図の赤い部分）を今の国境で切り分け、HYDEの人口格子で各国の中の割合を出して足し合わせています。植民地は Our World in Data の人口と Maddison の地域平均の1人当たりGDPで足しています。面積は、昔の国は Cliopatria の境界から測った値、今の国は World Bank の陸地面積です。

出典：World Bank WDI（今の国）、Maddison Project Database 2023・HYDE 3.3・Our World in Data・Maddison 2010（昔の国の人口・GDP）、Cliopatria（昔の国の面積）、文献（データベースに無い政体）。購買力平価の無い国（台湾・ベネズエラ・モナコ・バチカン市国）は推計です。

■ 主な宗教

宗派をまとめて「キリスト教」のように大きく分け、信者の多い順に最大4つです。表の1行に入らないときは、信者の少ない宗教から落としています。その年と数年ずれることがあります。

出典：CIA World Factbook、Wikipedia（英語版）、各国の国勢調査、World Religion Database。

■ 体制の存続年

体制とは、国の根幹のしくみがひと続きになっている期間のことです。その体制が始まった年から終わった年まで（今も続いていれば2027年まで）の年数で、その年では止めません。イギリス（1750）も1707年から2027年までの320年です。

次の①②のときだけ新しい体制と数え、それ以外（独裁・民主化・憲法改正など）は続きとします。

① 国が消える・作り直される・対等に合わさる・一部が独立する（例：日本1947、ドイツ1990、バングラデシュ1971）。相手を併合した国や、一部が独立したあとに残った国は続き。

② 王様の国と国民の国が入れ替わる、または王家が武力で別の家に替わる。同じ王家のまま呼び名が変わっただけなら続き。

特例：ナチス・ドイツ（1933）、キューバ（1959）、リビア（2011）も新しい体制と数えます。

出典：CIA World Factbook、Wikipedia（英語版）、各国史。

■ 国の存続年

体制が変わっても、国として続いている年数です（日本は540年ごろから、フランスは843年から）。こちらも国が消えた年まで（今もあれば2027年まで）数えるので、清（1790）やソビエト連邦（1962）のように国が今も続いていれば2027年までです。

- 他の国に併合されたり、保護領・植民地にされたり、他の国の王に従ったりした期間で中断されます（例：エチオピア1936～1941年、オーストリア1938～1945年、クウェート1990～1991年）。
- 占領されただけなら中断されません（第二次世界大戦中のフランスやオランダ、1945～49年のドイツ）。

出典：Gleditsch & Ward の国家リスト、Cliopatria、各国史。

■ その年の兵士数

今の国は現役兵と準軍事組織（国境警備隊など）の合計、1816年以降の昔の国は現役兵（帝国は本国の軍に植民地の軍を足しています）、それより前は歴史書の数字です。「2.5万人以上」は統計が下限しか分からない国、「0人」は軍隊を持たない国です。順位は今の国にだけ付けています。

出典：World Bank WDI（今の国）、Correlates of War Project, National Material Capabilities v7.0（1816年以降・許諾を得て使用）、The Statesman's Year-Book などの年鑑（データベースに無い国・植民地の軍）、Parker『The Military Revolution』他の歴史書（それ以前）。

■ 体制中の戦死者

その体制の政府が戦った戦争・内戦で、体制が続いた期間に亡くなった人の数（概数）です。

数えるのは、その体制の政府が当事者だった戦争・内戦で死んだ自国側の軍人と民間人です（内戦は両陣営とも自国の人）。国になる前の独立戦争は、植民地戦争の記録にある独立側の死者を数えます。幅のある推計は中央値をとり、病死を含む出典もあります。テロや民族どうしの衝突など、政府が当事者でない暴力は数えません。ロシアとウクライナ（2022年～）だけは研究機関（CSIS）の推計と国連の確認数で置き換え、2026年8月までを含みます。

出典：Correlates of War Project（1816～1988年・許諾を得て使用）、UCDP Georeferenced Event Dataset（1989年～・CC BY 4.0）、Clodfelter『Warfare and Armed Conflicts』・Bodart『Losses of Life in Modern Wars』・Brecke の Conflict Catalog などの文献と Wikipedia（データベースに無い戦争・民間人の死者・1816年より前）、CSIS・OHCHR（ロシア・ウクライナ戦争）。

■ 順位と割合の約束

- 順位は世界順位です。収録しているのは一部の国なので、カードを並べると順位は飛び飛びになります。「下1位」は下から数えた順位です。
- 比べる相手は独立国だけ。今の国は国連加盟国193か国に台湾・バチカン市国・パレスチナを足した196か国（兵士数は World Bank に統計のある国々）。昔の国は Maddison Project（人口・GDP）と Cliopatria（面積）にその年の統計がある国々（香港・プエルトリコを除く）です。
- 国でないカードは「〇位相当」です。
- 割合は有効数字2桁に丸め、0.01%未満は「<0.01%」です。人数は、10万人以上は万人の整数、1万人以上は小数1桁の万人、それ未満は人の単位で表し、面積は上から3桁に丸めています。統計が無い値は、今の国は「統計なし」、昔の国は「不明」です。

■ 地図

赤い部分がその年にその国が治めていた範囲、青い点が首都です。4枚は世界図で、面積が正しいイコールアースという図法を使っています。残りは局地図で、面積と方位が正しいランベルト正積方位図法を使っています。カードごとに縮尺は違います。小さすぎて塗れない国は赤い丸で位置を示しています。

出典：Cliopatria（昔の国）、Natural Earth・geoBoundaries（今の国）。首都の位置は Chandler の都市データ（Reba 他 2016）と Wikidata。

■ 仲良い・仲悪い

仲良いは、その年に同盟条約（攻められたら助ける・一緒に攻める約束）を結んでいた国。仲悪いは、国境争いや戦争で激しく対立していた国です。昔の国はその年の前後の関係（仲良いは前後5年、仲悪いは前後10年。今もある国の昔のカードは前後1年）、1950年以降のカードはその年だけです。国旗はGDPの大きい順で、入りきらない分は「+N」に数えます。NATO・EUなどの大きな同盟は名前の札で表しています（1950年以降のカードだけ）。

出典：ATOP v5.1（同盟）、Diehl 他 Peace Data（対立）。データベースに無い時代（同盟は1815年より前、対立は1900年より前）は Wikipedia（日本語版・英語版）で補っています。